

科目名	人文学講読演習Ⅱ 6－2					単位	2.0
担当教員	浅野 玄誠						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	5202

●授業のテーマ

バガヴァッド・ギーター講読

●到達目標

インドの古典文学を楽しみ、歴史的思想的な背景の基礎を理解する。
古典言語に触れ、言語の歴史と成り立ちを理解する。

●学習内容(授業概要)

Bhagavadgita は、18 巻よりなるインドの古典叙事詩 Mahabharata の第 6 巻「ビーシュマの巻」に挿入される物語である。(プーナ批判版の場合、Vi. 23-40)

この書物には、インドの歴史、思想史背景、宗教的関心などのエッセンスが盛り込まれていて、インド思想史を研究するためには好適な基礎的文献である。仏教との関係も深く、インド仏教を研究するための基礎資料としても大切である。

Bhagavadgita はサンスクリット語で書かれている。サンスクリット語初頭文法とセットで受講することが好ましいが、研究書や啓蒙書もたくさんあるので、サンスクリットに未熟な受講生に配慮して、英語、日本語も併用して丁寧に解説する。

今年度は Chap XI を読む。

●学習内容(授業計画)

1. 授業の概要と Bhagavadgita の説明
2. サンスクリット語の歴史背景と必須事項解説。
3. Bhagavadgita のあらすじと映像による理解
4. 講読演習 Chapt. XI k. 1-k. 5
5. 講読演習 Chapt. XI k. 6-k. 10
6. 講読演習 Chapt. XI k. 11-k. 15
7. 講読演習 Chapt. XI k. 16-k. 20
8. 講読演習 Chapt. XI k. 21-k. 25
9. 講読演習 Chapt. XI k. 26-k. 30
10. 講読演習 Chapt. XI k. 31-k. 35
11. 講読演習 Chapt. XI k. 36-k. 40
12. 講読演習 Chapt. XI k. 41-k. 42 第 11 章の総括
13. インド古典に表現された神と世界との関係
14. Dharma-yoga, Jnana-yoga, Bhakti-yoga について
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

- ・テキストをノートにローマ字表記し、その行間にメモ書きできるよう準備する。
- ・授業で解説された内容を授業中にノートして、自宅で整理し、それぞれのカーリカーに感想を記す。

●成績評価方法・基準

平常点 (50%) + レポート試験 (50%)

●テキスト (必携)

授業中にコピーにて配布する。

●参考文献／その他

辻直史郎著『バガヴァッド・ギーター』インド古典叢書、講談社

植村勝彦著『バガヴァッド・ギーター』岩波文庫 68-1

S. Radhakrishnan "The Bhagavadgita" Aquarian, 1995

Winthrop Sargent "THE BHAGAVAD GITA" State University of New York Press. 1984

●履修上の注意

原文を書いたノートを準備し、授業中に訳を付け加えて、コメントを書くこと。